

## 市内から2人選ばれる エイジレス・ライフ実践者

内閣府が表彰する「エイジレス・ライフ実践事例」の紹介事例に市内の原典子さん(71歳、落合北)と藤原まささん(94歳、綾西)が選ばれました。

同府は、年齢にとらわれず、自らの責任と能力で自由に生き生きとした生活を送ったり、積極的に社会参加活動に取り組んだりしている高齢者を毎年表彰しています。今年度実践事例として決定したのは、全国から推薦があった112人のうち55人で、県内では3人のうち市内の2人が選ばれました。原さんと藤原さんには、同府から贈られた賞状と記念品が市から渡されました。

10月3日に市長から賞状と記念品を手渡された原さんには、長年の活動に対する労いと祝いの言葉が掛けられ、原さんからは「今後も元気なうちは、活動を続けていきたい」と抱負が語られました。受賞者の活動は市ホームページで紹介しています。

図高齢介護課 ☎70・5616。



▲原典子さん(右)



▲藤原まささん



笠間城治郎氏

11月1日、オーエンス文化会館で市表彰式典を行いました。表彰者は次のとおりです(順不同、敬称略)。  
図秘書広報課 ☎70・5648。



▼自治功労表彰(市長として永年にわたり市政の発展に貢献) ▼笠間城治郎(寺

## 46人13団体に表彰・感謝状 市表彰式典開催

尾西  
▼一般表彰(公共の福祉の増進に貢献) ▼鈴木隆徳(吉岡) ▼井上貞子(小園南) ▼皆川達也(寺尾北) ▼森下美玖江(海老名市) ▼古郡保正(吉岡) ▼鈴木正和(深谷南) ▼鈴木真一(上土棚中) ▼松本信之(大上) ▼瀧元健次郎(綾西) ▼比留川祥隆(深谷上) ▼山田忠之(厚木市) ▼佐々木淳一(寺尾北) ▼大久保幸夫(早川) ▼後藤好夫(上土棚北) ▼大森浩平(上土棚中) ▼田口國勝(綾西) ▼金井盛夫(上土棚北) ▼藤原貞一(大上) ▼見上恵子(大上) ▼小林浩美(深谷) ▼菅原悌三(小園南) ▼星野敏雄(深谷中) ▼比留川正男(早川城山) ▼清水建侍(吉岡東) ▼藤井孝俊(小園) ▼細川佳裕(寺尾南) ▼沼田光治(落合南) ▼加藤洋(大和市) ▼前田勲(小園) ▼安井功正(寺尾本町) ▼崎永政人(上土棚南) ▼高部寛章(綾西) ▼佐藤敦(上土棚中) ▼増尾玄太郎(吉岡東) ▼岩根由美(小園南) ▼安井巧美(寺尾南) ▼教育・文化・スポーツの振興に貢献 ▼綾北 We cury winds with R.I.H.S ▼徳田辰吉(早川) ▼長田泰吉(早川城山) ▼渡邊大樹(綾西) ▼内藤大貴(早川) ▼堀田優果(深谷南) ▼青木優佳(深谷中) ▼小室直椰(寺尾北)

ポランティア活動 ▼ほほ笑みサークル ▼ちくちくの会 ▼ぐるーぷ・ゆう ▼いごの会 ▼見上晴美(深谷中) ▼長坂上西公園愛護会 ▼下落合公園愛護会 ▼小園公園愛護会 ▼クラブ・イナリヤト愛護会 ▼つくしの会公園愛護会 ▼大上公園愛護会 ▼感謝状 ▼矢部光雄 ▼綾北小学校創立50周年記念事業実行委員会

## タイムスリップ

### 環濠集落

かんこう 環濠集落とは、周囲に深い溝をめぐる集落(ムラ)のことを指します。国指定史跡神崎遺跡には、南北に103m、東西に65m、面積は約5000㎡の楕円形の集落があり、環濠の深さは1.8mでV字型をしています。神崎遺跡資料館にある環濠のレプリカで実際に深さを体験できます。

集落の周りに環濠を作った理由は分かっていませんが、争いの際に集落を防御するためのものではないかといわれています。

図生涯学習課 ☎70・5637。



▲復元想像図



▲環濠のレプリカ

## あやせ スポレポ!



### サッカー協会

図三好  
☎090・8586・9800

まちかど特派員 高橋元



市サッカー協会は、サッカー競技の普及と技術向上、サッカーを愛する人々相互の親睦を図ることを目的に、昭和49年に発足し、昨年には40周年を迎えました。設立当時は、サッカーを親しむ市民も少なく、子どもたちも小・中学校のグラウンドがサッカー競技の場所でした。サッカー少年団から協会活動へと、皆さんの労と努力で、発展してきました。

平成21年10月、綾瀬スポーツ公園の第一サッカー場という素晴らしい競技場が開設され、組織の運営基盤の拡充とともに、同協会が盤石となりました。競技人口も増加し、今日ではジュニアから、中学生、高校生のユースチーム、社会人男子・女子、さらにはシニアチームまでの多くのチームがあり、各クラス別の大会、他都市との友好親善大会に参加されています。各委員会も組織され、会員も千人を超える大きな協会が築かれました。チーム登録数は少年委員会7、中学委員会5、社会人委員会17、他にも40歳以上の四十雀、50歳以上の五十雀、女子、ユースなどの区分に数多くのチームがあります。



今後に向けて、山内宏俊副会長は「先人が作った組織をさらに活力ある協会として発展させるため、役員、構成員で切磋琢磨し、次世代の人たちが活動できる場をつくりたい」と話してくれました。

サッカー競技がこれからも市民の皆さんと共に普及することを切に望みます。